

2015年11月24日 発行

2025年 2月24日 改定

ILCA(Laser) All Japan Championships 参加資格 (クォリファイ) について

日本レーザークラス協会 イベント委員会

強化委員会

レーザークラス協会は大会運営の見直し及び安全対策の再構築を図るため、ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS (以下 全日本) におけるクォリファイ制度の見直しを行いました。「セーリングレベルを確保し、安全なレース運営」を実施していくために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ここ数年、全日本選手権参加においては、フリートキャプテン推薦、水域マネージャー推薦制度を導入し、「選手のセーリング技術・安全の確認」を行なってまいりました。しかし近年の活動状況 (フリートに属せない選手・インターハイ、国体種目採用) から判断し、**クォリファイ制度を採用します。(2025年2月24日改定)**

ILCA4 全日本については、普及育成クラスであること、OP クラス卒業から ILCA4 全日本までのクォリファイ対象大会が少ないことから、従来のフリートキャプテン推薦、水域マネージャー推薦制度を継続します。

ILCA7/ILCA6 全日本、及び ILCA4 全日本について、参加資格は次の通りです。

ILCA7(Standard)、ILCA6(Radial)

参加艇上限数 ILCA7 70 艇
 ILCA6 70 艇

参加年齢 ILCA7 16 歳以上(開催年度の 12 月 31 日時点)
 ILCA6 14 歳以上(開催年度の 12 月 31 日時点)

クォリファイ枠 (アプリケーションエントリーが可能となる資格) は下記 A~D の順に付与する。

クォリファイ枠 A. (通称：前年全日本枠=アプリケーションエントリーと同時に参加確定となります)

前年度の ILCA7/ILCA6 全日本における、総合 (カテゴリ) の入賞者

(参考) 2024 年 ILCA6/7 All Japan Championships

ILCA7 : 入賞者 4 名、ILCA6 : 入賞者 5 名

クオリファイ枠 B. (通称：指定大会枠＝アプリケーションエントリーと同時に参加確定となります)

下記指定大会において、クラス毎の参加艇数に応じてクオリファイ枠を付与する。

ただし、その大会でのクオリファイ獲得対象者が、すでにクオリファイ枠 A または先の指定大会（クオリファイ枠 B）で枠を保有している場合等は、次点に権利が移る。

付与下限は参加艇数の 50%(小数点以下四捨五入)までとする)

指定大会	
シーズンレガッタ	地域選手権
スプリング・レガッタ、オータムレガッタ	北海道選手権、東北選手権、北信越選手権、関東選手権、中部選手権、関西選手権、中国選手権、四国選手権、九州選手権
付与枠数： (クラス毎に) 参加艇数によって以下の枠を付与する。5 艇未満の時は枠を付与しない 5～9 艇：1 枠、10～19 艇：2 枠、20～29 艇：3 枠、30～39 艇：4 枠、40 艇以上：5 枠 ※参加艇数：実参加艇数（参加申込みをしたもののレース会場に来なかった艇は参加艇数にカウントしない） ※年齢：参加艇数カウントは全日本への年齢制限に達していない選手も含む	

クオリファイ枠 C. (通称：強化委員会承認枠＝アプリケーションエントリーと同時に参加確定となります)

日本レーザークラス協会強化委員会が特例承認している者

申請期限： 全日本開催月の前々月の末日（2024 年については9 月末日）

申請先： 日本レーザークラス強化委員会

強化委員会承認事例：

日本レーザークラス協会メンバー、かつ他クラスにおいてオリンピック挑戦（活動）をされており、海外遠征・ナショナルチーム活動等で全日本クオリファイ対象大会への参加が困難である場合。

※ただし、国内活動期間中に全日本クオリファイ対象大会に参加ができる選手は除く

クオリファイ枠 D. (通称：クオリファイ対象大会枠＝未確定枠)

下記クオリファイ対象大会において、上位 60%(小数点以下四捨五入)以内の成績を収めた者。

ただし、総枠数から上記 A,B,C を除いた枠数を上限する。

上限を超えた場合は、アプリケーションエントリー（仮申込み）締め切り後、期限までにアプリケーションエントリーを終えた者の中からクラス別ランキング上位順に参加確定となります。

クオリファイ対象大会
前年度 All Japan Championships 以降の開催大会～開催年 10 月第 2 週までに開催される指定地域選手権、シーズンレガッタ、インターフリートレガッタ及びオリンピック・ウィーク、世界選手権選考大会 等 ※イベントスケジュールを参照のこと
付与枠数： 別添「(参考 1)参加艇数別基準表」を参照のこと。 ※参加申込みをしたもののレース会場に来なかった艇は参加艇数としてカウントしない ※全日本への年齢制限に達していない選手の参加があった場合も参加艇数にカウントする ※参加艇数 3 艇未満の場合、当該クラスについて枠は付与しない ※参加艇数の上位 60%以内の成績を獲得した選手に枠を付与する。 辞退等しても下位選手への繰り下げはない。 また、先のクオリファイ対象大会においてクオリファイ枠を獲得した場合は同様に下位の選手への繰り下げは行わない。

エントリー方法：

- (1) アプリケーションエントリー（仮申込み）期間中に申込みを行う。クォリファイ枠 A,B,C についてはアプリケーションエントリーと同時に参加確定となる。
- (2) アプリケーション締め切り時点で参加艇上限数を越えなかったクラスについては、クォリファイ枠 D について参加確定となる。
参加上限数を越えたクラスについては、クォリファイ枠 D についてクラス別ランキング上位者から参加確定となる。
参加確定とならなかった選手は、待機リストに記載され、キャンセル待ちとなる。
- (3) 参加確定となった選手は、決められた期日までにエントリー費を支払う。
期日までに支払いがなかった場合、もしくは参加申込みを取り下げた場合、キャンセル扱いとなり、待機リストの選手に権利が移譲される。
- (4) ILCA6/ILCA7 両クラスのクォリファイ枠保有者は、どちらのクラスにエントリーするかについて、アプリケーションエントリー（仮申込み）時に、
 - ① ILCA6 のみにエントリー
 - ② ILCA7 のみにエントリー
 - ③ ILCA6 にエントリーを希望するが ILCA6 で参加確定とならなかった場合は ILCA7 もしくは ILCA4 のエントリーを選択できる。

ILCA4(4.7)

参加艇上限数 ILCA4 70 艇

参加資格： 以下 1、2 を満たしていること

1. エントリー時点において、開催年度レーザークラス協会会員である（※1）
2. 所属するレーザーフリートキャプテンもしくは水域マネージャーの推薦がある（※2 ※3）
※ILCA6/ILCA7 いずれかにおいてクォリファイ枠 D 以上が付与されている選手を除く（※4）

（※1）大会エントリー締切日までに申請手続きがなされていなければ、参加承認されません。

（※2）推薦を受ける形式は問いません（口頭、メール、文書等）が、大会へのエントリー時に推薦を受けたフリートキャプテンもしくは水域マネージャー名を入力していただきます。エントリー後に大会事務局にて該当するフリートキャプテンもしくは水域マネージャーに確認し、問題なければ参加承認を行い、エントリーサイトに掲示します。

（※3）自己推薦書をフリートキャプテンもしくは水域マネージャーに送付し、エントリー前に承認を受けるようにしてください。加えて、エントリー時に自己推薦書を日本レーザークラス協会強化委員会宛に提出願います。

電子メールアドレス：ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

該当するフリートキャプテンもしくは水域マネージャーは、参考 3 の項目を元に当該選手の知識・技量・艇の状態を確認した上で、承認（自己推薦書へのサイン）をお願いします。

（※4）各クラスのクォリファイ枠 D 以上を取得している選手については十分な力量を持っているものと判断し、フリートキャプテン/水域マネージャー推薦、および自己推薦書の提出は不要といたします。

その他：

(1) 本方針等の更新情報は、日本レーザークラス協会の Web サイトに随時掲載される。

日本レーザークラス協会：

<http://www.laserjapan.org/>

(2) 質疑等については、日本レーザークラス協会強化委員会あてメールもしくは F A X にて問い合わせ願います。

日本レーザークラス協会強化委員会

電子メールアドレス：ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

FAX：0467-76-1052

以上

(参考 1) クオリファイ対象大会における参加艇数別基準表

All Japan Championships へのエントリーにむけて自己チェック可能となるよう、早見表を作成しました。

基準を満たしているかどうかを各自で確認するようお願いします。

参加艇数	60%順位	参加艇数	60%順位	参加艇数	60%順位
1艇	—	31艇	19位	61艇	37位
2艇	—	32艇	19位	62艇	37位
3艇	2位	33艇	20位	63艇	38位
4艇	2位	34艇	20位	64艇	38位
5艇	3位	35艇	21位	65艇	39位
6艇	4位	36艇	22位	66艇	40位
7艇	4位	37艇	22位	67艇	40位
8艇	5位	38艇	23位	68艇	41位
9艇	5位	39艇	23位	69艇	41位
10艇	6位	40艇	24位	70艇	42位
11艇	7位	41艇	25位	71艇	43位
12艇	7位	42艇	25位	72艇	43位
13艇	8位	43艇	26位	73艇	44位
14艇	8位	44艇	26位	74艇	44位
15艇	9位	45艇	27位	75艇	45位
16艇	10位	46艇	28位	76艇	46位
17艇	10位	47艇	28位	77艇	46位
18艇	11位	48艇	29位	78艇	47位
19艇	11位	49艇	29位	79艇	47位
20艇	12位	50艇	30位	80艇	48位
21艇	13位	51艇	31位	81艇	49位
22艇	13位	52艇	31位	82艇	49位
23艇	14位	53艇	32位	83艇	50位
24艇	14位	54艇	32位	84艇	50位
25艇	15位	55艇	33位	85艇	51位
26艇	16位	56艇	34位	86艇	52位
27艇	16位	57艇	34位	87艇	52位
28艇	17位	58艇	35位	88艇	53位
29艇	17位	59艇	35位	89艇	53位
30艇	18位	60艇	36位	90艇	54位

(参考 2) フリートキャプテン、水域マネージャーリスト一覧

<http://www.laserjapan.org/jlcaprofile>

(参考 3) フリートキャプテンもしくは水域マネージャーによる推薦の目安

- (1) 直近 2 年以内において ILCA クラスもしくは他の艇種にてレース活動の実績があること
- (2) ウェットスーツ等、コンディションに合わせた適切なウェアを持っていること
- (3) 強風時(平均風速 15 ノット以上)に一人で沈起こしが出来ること (黒球ありでも可)
- (4) コンディション悪化時に自分自身の力量や残存体力を見極め、レースへの参加・不参加もしくはリタイヤを判断できる能力があること
- (5) サバイバルもしくは艇トラブル時に安全にハーバーに帰る方法や救助を受ける方法について知っていること
- (6) 安全に関わる装備を正しくセットできること
- (7) 帆走前の艀装チェックができること (ロープの擦れ、セールの亀裂、金具の緩み等)
 - ・センターボードの抜け止めが適切にセットされているか (完沈時にセンターボードが抜け落ちてしまわないか)
 - ・マスト抜け止めが適切にセットされているか
 - ・曳航用バウロープが適切にセットされているか
 - ・ラダー抜け止めが適切にセットされているか
 - ・テイラーエクステンションのジョイントに亀裂はないか
 - ・メインシートが過度に出過ぎないように途中で結び目が作られているか
 - ・出艇前にドレンプラグが締まっているか確認しているか
 - ・その他